

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2008年第11週  
(3月10日～3月16日)

- \* 2008年3月19日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2008年2月)の疾患も掲載しています。

平成20(2008)年3月21日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会  
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

## 全数把握対象疾患 報告数 2008年11週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	77	78	71	50	733	291	4480
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ						2	4
	細菌性赤痢	1		2	2	14	6	66
	腸管出血性大腸菌感染症	3		2		8	71	196
	腸チフス					3		9
	パラチフス					1		6
四類	E型肝炎	1				2		10
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	3	1	1		9	1	41
	エキノкокクス症							4
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					4		38
	デング熱					3		11
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1			4		6
野兔病							2	
ライム病							1	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1		2		14	15	164	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週		11週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	4	3		33	10	162
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	1		1	7	5	42
	急性脳炎 **	1				5	3	53
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		1	1	27
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			6	2	24
	後天性免疫不全症候群	6	20	11	7	110	20	271
	ジアルジア症		1		1	4	2	15
	髄膜炎菌性髄膜炎							4
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	6	3	4	31	17	147
	破傷風					2	1	14
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				2	1	10
風しん		1	2		10	9	96	
麻しん	70	95	67	63	490	435	4212	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/3/19集計								

\* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核** 50件 肺結核36件、その他14件で、推定感染地は国内48件、中国1件、ネパール1件であった。年齢は5歳未満1件、20歳代7件、30歳代11件、40歳代8件、50歳代5件、60歳代4件、70歳代12件、80歳代1件、90歳代1件であった。60歳代1件の死亡例が報告されていた。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢** 2件 ボイド1件、ソンネ1件で、推定感染地はカンボジア1件、マリ1件、推定感染経路はいずれも飲食物による経口感染であった。

#### 〈五類感染症〉

**ウイルス性肝炎** 1件 B型で、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触であった。

**後天性免疫不全症候群** 7件 すべて無症候キャリアで、推定感染地は国内6件、不明1件であった。推定感染経路はすべて性的接触(同性間6件、異性間1件)であった。

**ジアルジア症** 1件 推定感染地はインドで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

**梅毒** 4件 早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候梅毒1件で、推定感染地は国内3件、インドネシア1件、推定感染経路はすべて性的接触(同性間2件、異性間1件、性別不明1件)であった。

**麻しん** 63件 麻しん(検査診断例)13件、麻しん(臨床診断例)35件、修飾麻しん(検査診断例)15件で、年齢は10歳未満10件(うち5歳未満7件)、10歳代15件、20歳代26件、30歳代8件、40歳代2件、50歳代2件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し30件、1回14件、不明19件であった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2008年11週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		8週	9週	10週	11週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	14	11	13	3	0.02	150	150
	咽頭結膜熱	37	27	26	32	0.21		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	371	409	387	382	2.55		
	感染性胃腸炎	1,999	2,028	2,337	2,380	15.87		
	水痘	183	190	179	185	1.23		
	手足口病	15	4	3	7	0.05		
	伝染性紅斑	20	19	19	18	0.12		
	突発性発しん	77	92	81	91	0.61		
	百日咳	2	4	3	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	2	2	1	0	0.00		
	流行性耳下腺炎	44	37	59	47	0.31		
	不明発しん症(注1)	10	6	9	8	0.05		
	MCLS(川崎病)(注1)	0	2	2	2	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	1,516	1,027	849	745	2.59	288	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	0	4	0	0.00	39	39
	流行性角結膜炎	20	16	21	12	0.31		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	1	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	3	0.13		
	マイコプラズマ肺炎	5	2	5	4	0.17		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/3/19集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

# 風しん、麻疹、成人麻疹は2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続して微減したが、過去5年平均の同時期と比較して依然として高いレベルにある。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増であるが、2008年第3週以降は連続して増加している。過去の同時期とは異なる推移を示しており、注意が必要である。増加の理由として、ノロウイルスの他、ロタウイルス等による流行を考慮する必要がある。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は6週連続して減少した。過去5年平均の同時期と比較して低いレベルで推移している。
- ・無菌性髄膜炎の定点当たり報告数が増加した。今後の推移に注意が必要である。

### (定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・**感染性胃腸炎**: 患者107名のうち、ロタウイルスが確認された者30名。

\*インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月				17						
～11か月	3	2	1	127	12	2	3	47		
1歳		7	7	354	33	3		37		
2歳		5	15	259	30	1	1	5		
3歳		6	24	229	28	1				
4歳		4	55	228	30		4			
5歳		4	53	195	17					
6歳			53	172	14		3	2		
7歳		1	58	154	7		4		1	
8歳		1	36	110	5		1			
9歳			20	89	5		1		1	
10～14歳		1	29	180	4		1			
15～19歳			3	20						
20～29歳		1	28	246						
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	3	32	382	2380	185	7	18	91	2	
先週比	-10	6	-5	43	6	4	-1	10	-1	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		1		
～11か月		2	1	9		
1歳	4	2	1	32		
2歳	6	1		24		
3歳	3	1		32		
4歳	6			61		1
5歳	7	1		59		
6歳	7			68		
7歳	3			36		
8歳	5			39		
9歳	2			32		
10～14歳	2			103		
15～19歳	1			30		
20～29歳	1			46		1
30～39歳				90		4
40～49歳				45		2
50～59歳				26		3
60～69歳				5		1
70～79歳				7		
80歳以上						
合計	47	8	2	745		12
先週比	-12	-1		-104	-4	-9

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年11週

	風しん	麻しん
0歳		4
1歳		2
2歳		1
3歳		
4歳		
5歳		2
6歳		
7歳		1
8歳		
9歳		
10～14歳		8
15～19歳		7
20～29歳		26
30～39歳		8
40～49歳		2
50～59歳		2
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		63

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				13						
中央区			6	18	2			3		
みなと		2	30	142	13		1	3		
新宿区	1		5	80	4			2		
文京			6	16	4					
台東		1	3	40	2	2		4		
墨田区			10	40	4	1				
江東区			15	168	5	1		5		
品川区		1	10	113	4			6		
目黒区			5	31	1		2	1		
大田区		5	23	177	15	1	4	8	1	
世田谷		3	10	149	8			2		
渋谷区			5	43	2			4		
中野区			11	96	15	1		1		
杉並		4	5	90	6		1	2		
池袋			2	24	4					
北区	1	1	1	67	4			5		
荒川区		4	5	24	3		2	1		
板橋区			1	21	2			1		
練馬区			6	51	2			2		
足立			2	95	7		3	2		
葛飾区			15	47	7			5		
江戸川	1	2	32	85	7			8		
八王子市		3	55	160	18			6		
西多摩			6	81	1			2		
南多摩			19	67	7		1	3		
町田			54	183	4		3	4		
多摩立川			3	37	4	1				
多摩府中			7	94	7		1	4	1	
多摩小平		6	30	128	23			6		
島しょ								1		
東京都合計	3	32	382	2,380	185	7	18	91	2	-

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2008年11週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区				4		2
みなと	1			13		
新宿区	2	1		22		
文京	1			19		1
台東	1	1		4		
墨田区	1			14		
江東区	1			18		
品川区	1	1		20		
目黒区	1			11		1
大田区	2	1		34		
世田谷	3			47		
渋谷区				4		
中野区	1			27		1
杉並	1			28		
池袋	5			10		
北区			1	19		
荒川区	4			11		
板橋区	1			18		
練馬区	4			60		1
足立	4			18		
葛飾区	1			29		1
江戸川	4			44		
八王子市	3	2		23		2
西多摩	1			50		
南多摩				4		
町田	1	2	1	32		
多摩立川				24		
多摩府中	3			87		1
多摩小平				50		2
島しょ				1		

東京都合計	47	8	2	745	-	12
-------	----	---	---	-----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		1
みなと		1
新宿区		1
文京		2
台東		1
墨田区		
江東区		1
品川区		3
目黒区		
大田区		10
世田谷		2
渋谷区		
中野区		4
杉並		2
池袋		1
北区		2
荒川区		
板橋区		2
練馬区		3
足立		3
葛飾区		
江戸川		5
八王子市		1
西多摩		1
南多摩		2
町田		4
多摩立川		1
多摩府中		4
多摩小平		6
島しょ		

東京都合計		63
-------	--	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				3.25						
中央区			2.00	6.00	0.67			1.00		
みなと		0.33	5.00	23.67	2.17		0.17	0.50		
新宿区	0.17		0.83	13.33	0.67			0.33		
文京			2.00	5.33	1.33					
台東		0.33	1.00	13.33	0.67	0.67		1.33		
墨田区			3.33	13.33	1.33	0.33				
江東区			3.75	42.00	1.25	0.25		1.25		
品川区		0.17	1.67	18.83	0.67			1.00		
目黒区			1.67	10.33	0.33		0.67	0.33		
大田区		0.56	2.56	19.67	1.67	0.11	0.44	0.89	0.11	
世田谷		0.38	1.25	18.63	1.00			0.25		
渋谷区			1.25	10.75	0.50			1.00		
中野区			1.83	16.00	2.50	0.17		0.17		
杉並		0.67	0.83	15.00	1.00		0.17	0.33		
池袋			0.40	4.80	0.80					
北区	0.25	0.25	0.25	16.75	1.00			1.25		
荒川区		2.00	2.50	12.00	1.50		1.00	0.50		
板橋区			0.17	3.50	0.33			0.17		
練馬区			1.20	10.20	0.40			0.40		
足立			0.40	19.00	1.40		0.60	0.40		
葛飾区			3.75	11.75	1.75			1.25		
江戸川	0.20	0.40	6.40	17.00	1.40			1.60		
八王子市		0.75	13.75	40.00	4.50			1.50		
西多摩			1.20	16.20	0.20			0.40		
南多摩			4.75	16.75	1.75		0.25	0.75		
町田			13.50	45.75	1.00		0.75	1.00		
多摩立川			0.50	6.17	0.67	0.17				
多摩府中			0.70	9.40	0.70		0.10	0.40	0.10	
多摩小平		1.00	5.00	21.33	3.83			1.00		
島しょ								1.00		

東京都	0.02	0.21	2.55	15.87	1.23	0.05	0.12	0.61	0.01	-
-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	---

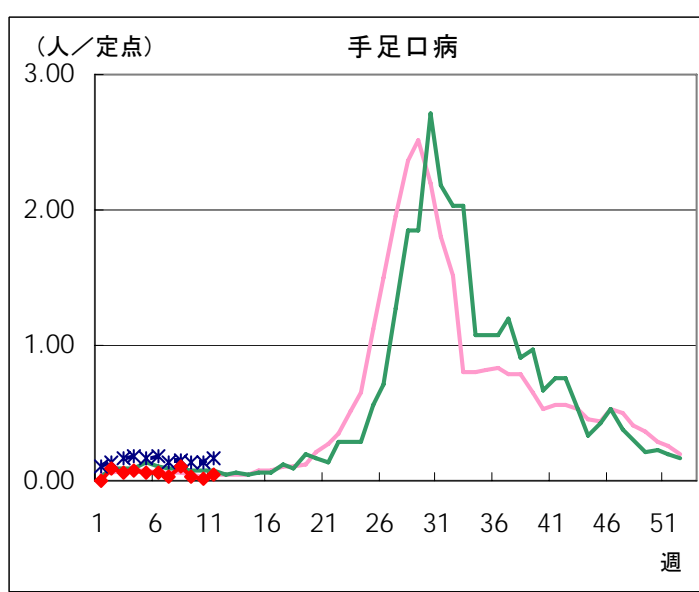
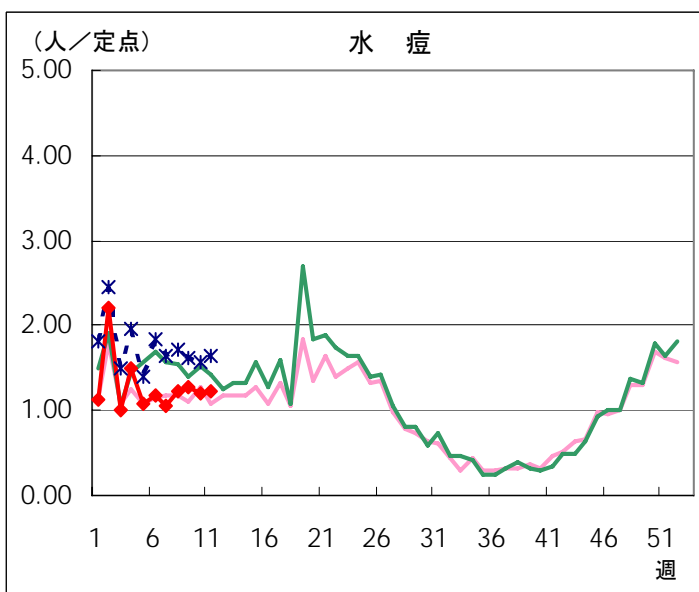
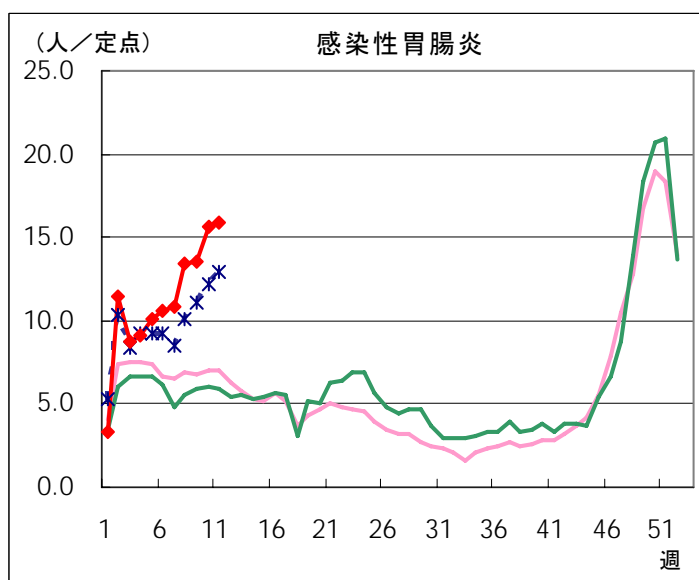
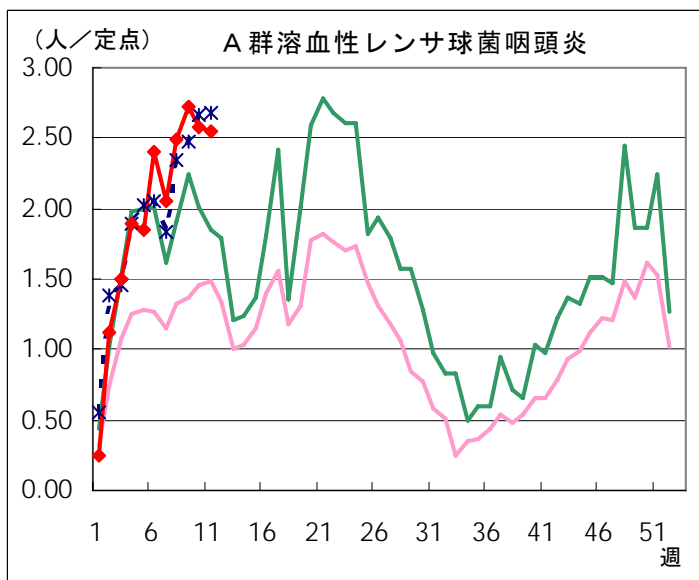
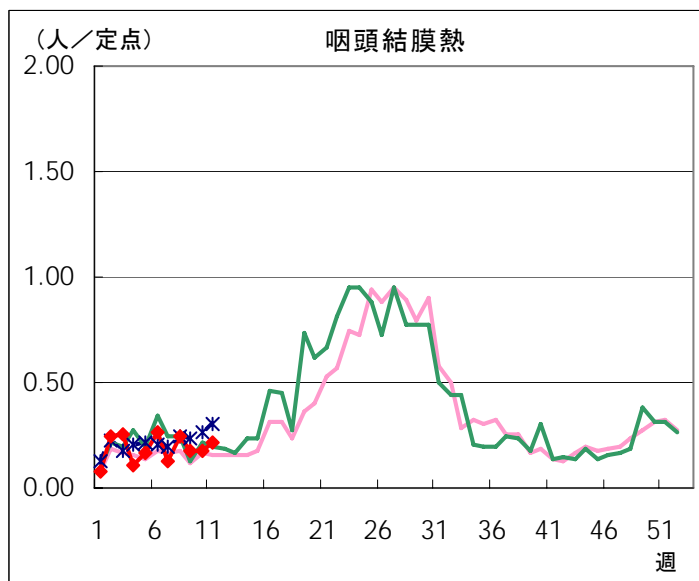
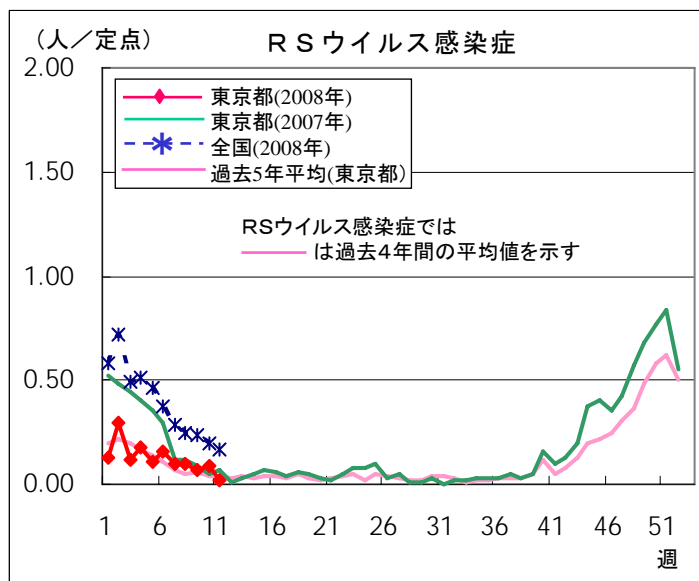


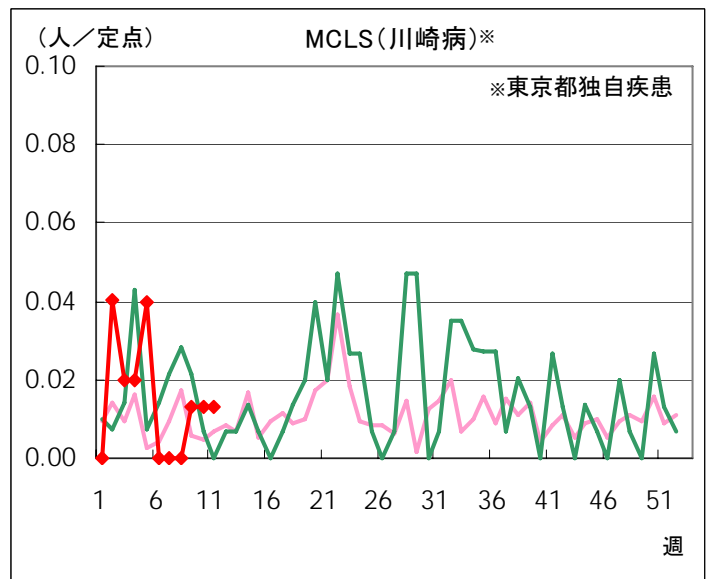
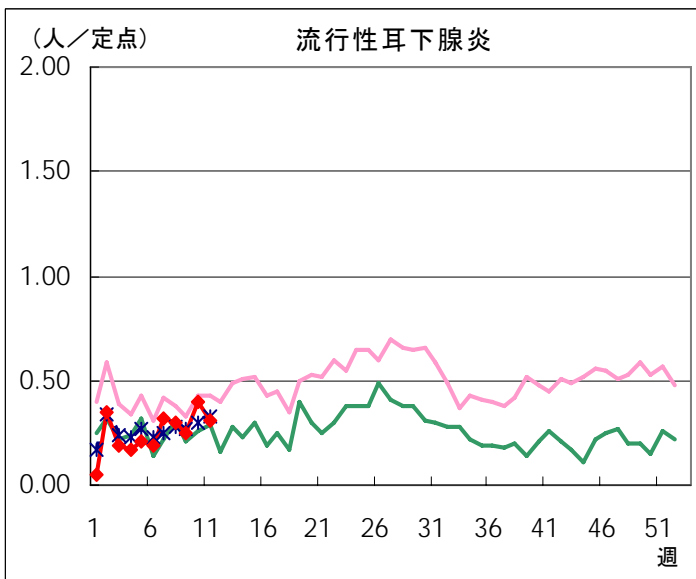
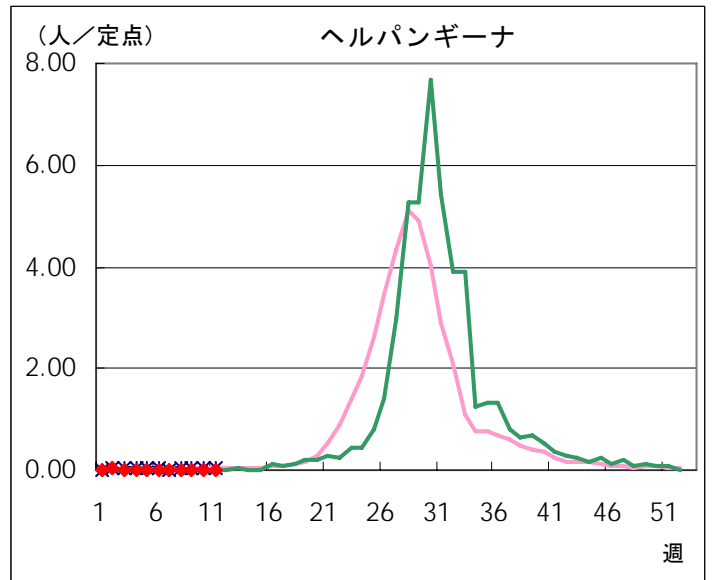
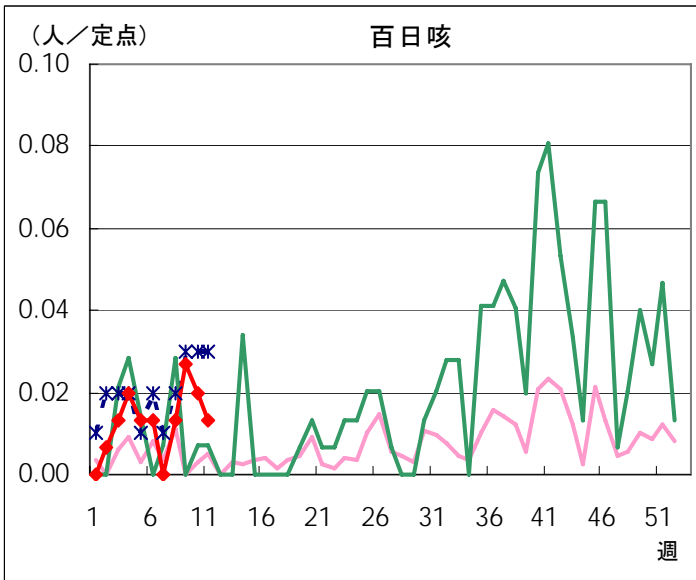
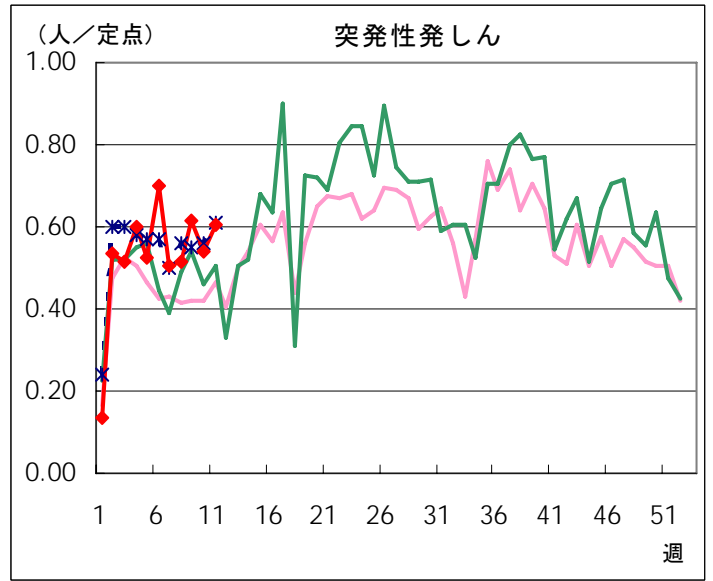
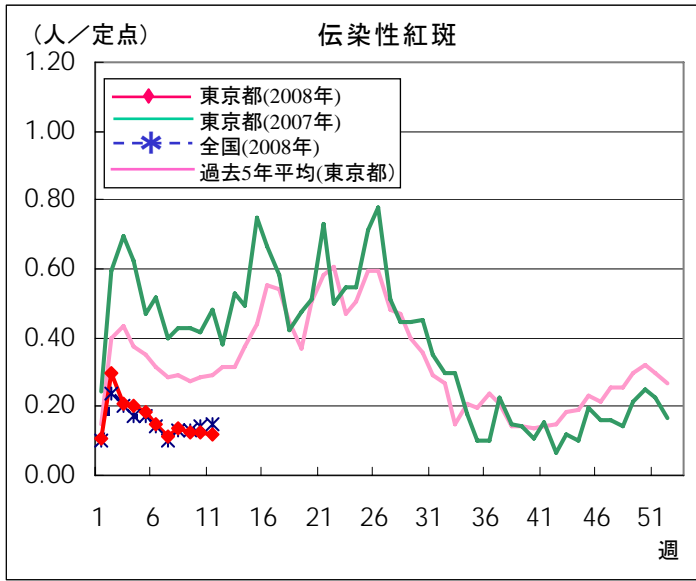
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区				1.00		2.00
みなと	0.17			1.63		
新宿区	0.33	0.17		2.44		
文京	0.33			3.80		1.00
台東	0.33	0.33		0.80		
墨田区	0.33			2.33		
江東区	0.25			2.00		
品川区	0.17	0.17		2.00		
目黒区	0.33			1.83		1.00
大田区	0.22	0.11		2.13		
世田谷	0.38			3.13		
渋谷区				0.67		
中野区	0.17			3.00		1.00
杉並	0.17			2.33		
池袋	1.00			1.25		
北区			0.25	2.38		
荒川区	2.00			2.75		
板橋区	0.17			1.50		
練馬区	0.80			5.45		0.50
足立	0.80			1.50		
葛飾区	0.25			3.22		1.00
江戸川	0.80			3.67		
八王子市	0.75	0.50		2.30		1.00
西多摩	0.20			5.56		
南多摩				0.44		
町田	0.25	0.50	0.25	3.56		
多摩立川				1.85		
多摩府中	0.30			4.14		0.33
多摩小平				3.57		1.00
島しょ				0.50		

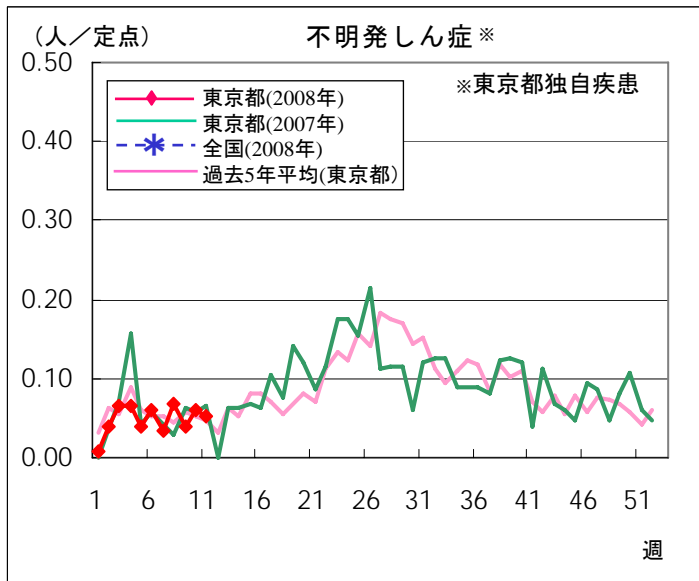
東京都	0.31	0.05	0.01	2.59	-	0.31
-----	------	------	------	------	---	------

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年11週現在

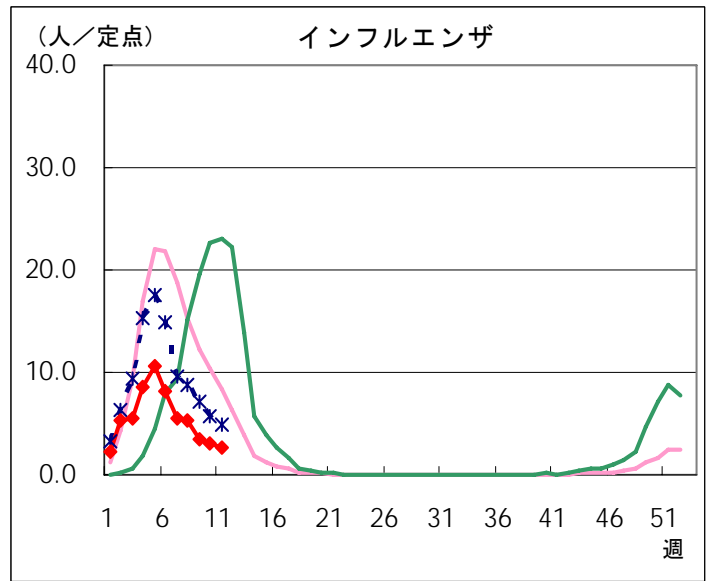
## ◆ 小児科定点



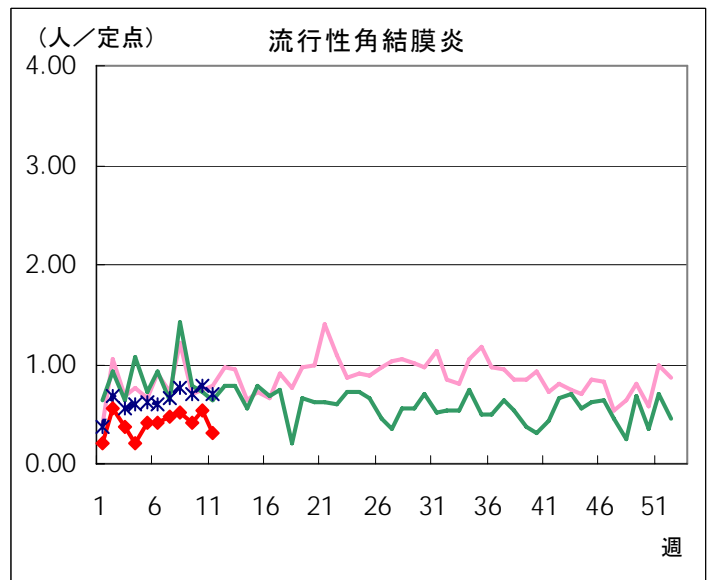
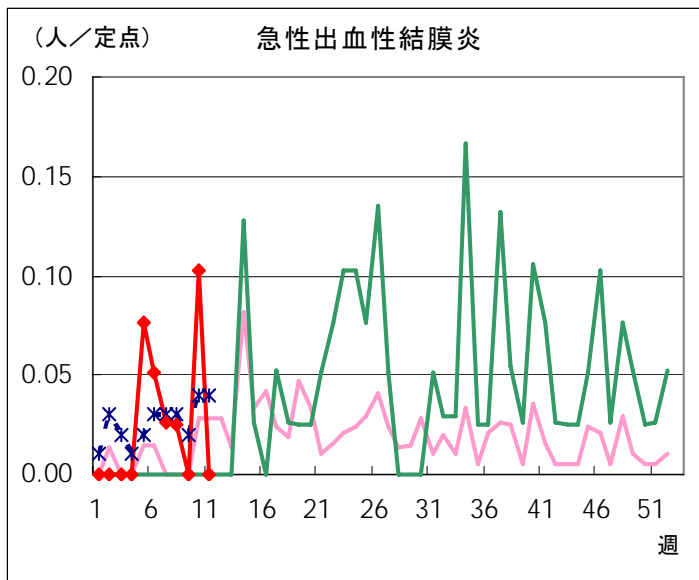




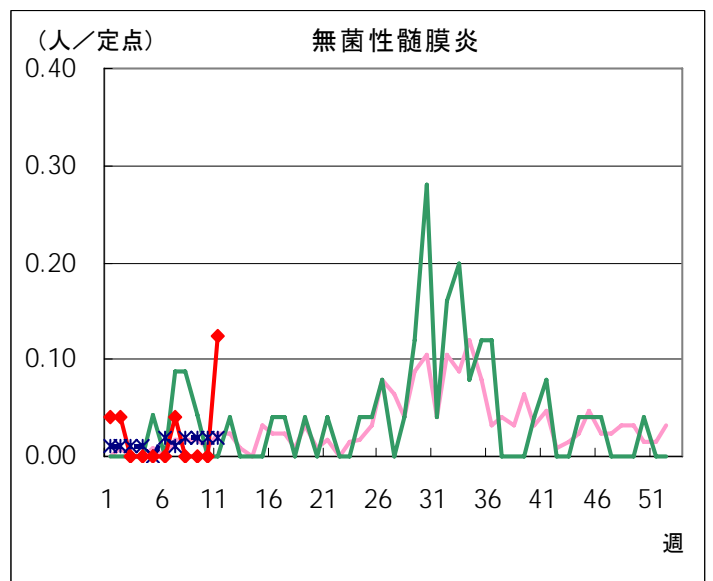
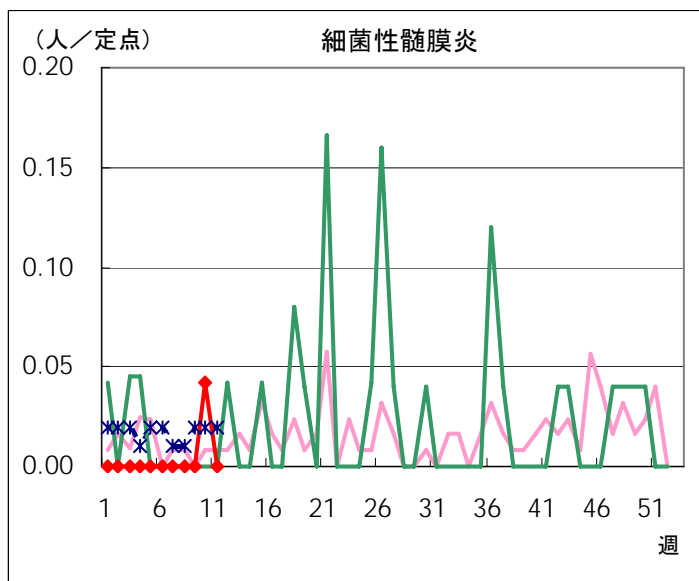
◆ インフルエンザ定点

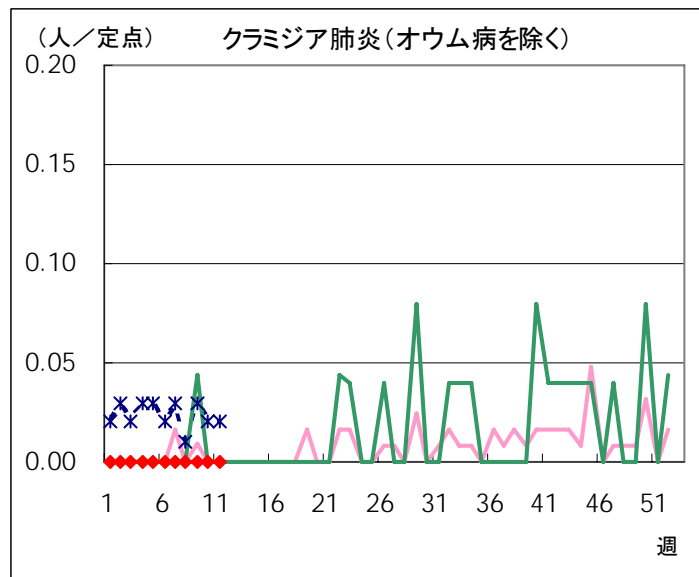
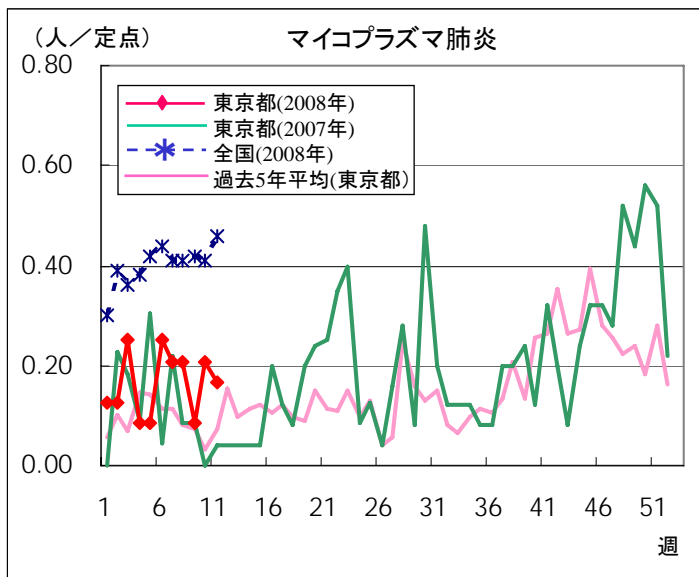


◆ 眼科定点

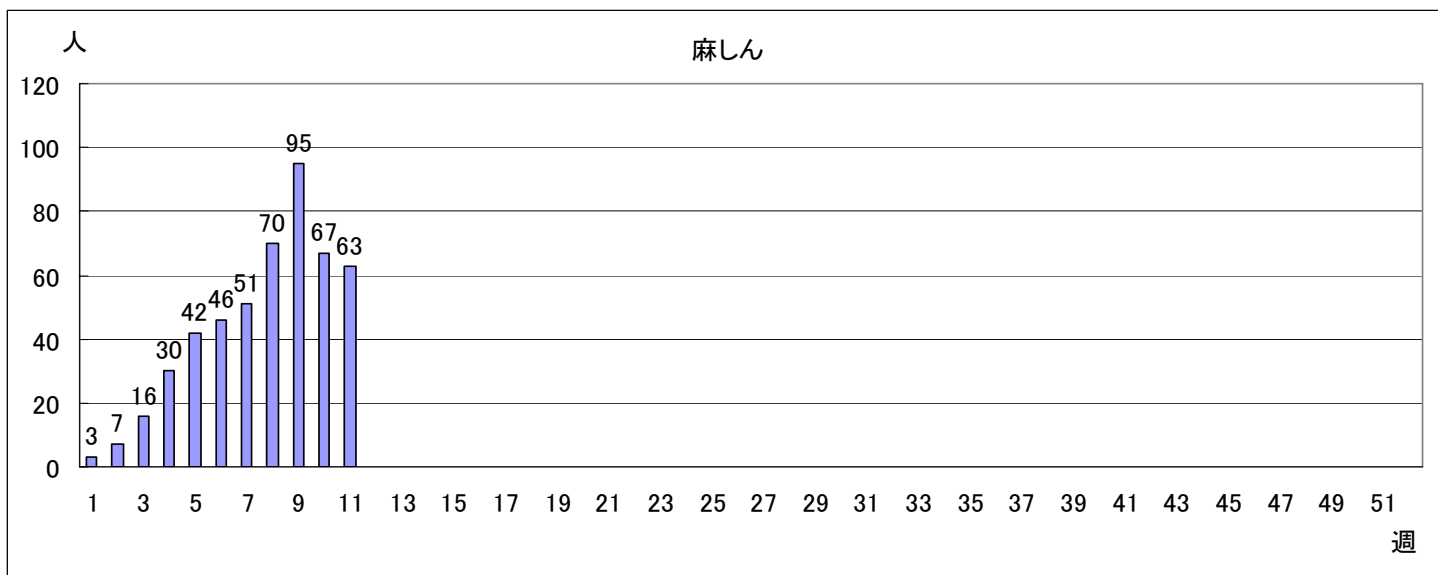


◆ 基幹定点





**全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年11週現在**



## 定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	8		
	2		
墨田区	1		
品川区		2	患者6名、B型は2名。
	4		
目黒区	1		患者4名、B型は3歳男児。 A型1名は10歳女児、B型1名は3歳男児。
	1	1	
大田区	1	1	患者5名、B型は25歳男性1名。
		1	
	5	3	
世田谷	1		
	1		
	2		
	2		
渋谷区	1		
中野区	5	1	B型の2人は溶連菌感染症との合併あり。 患者1名(A型)は母親からの感染でした。
	4	2	
	2	1	
	1	6	
	1		
	1		
池袋	2		
	1		
	4		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区	2		患者6名、うちB型は3名。 20歳代男性1名はA型、B型ともに陽性の反応あり。
	5	2	
		3	
	1		
練馬区	1		感染地域は新潟県だと推定される。
足立	3		
西多摩	1	1	A型1名は10歳代。B型1名は50歳代。  A型1名は30歳代。B型1名は20歳代。 B型1名は20歳代男性。
	13	1	
	1	1	
	3	1	
多摩立川		1	患者4名。
	3		
多摩府中	4		患者4名、うちタミフル使用者2名、いずれにも神経精神症状なし。  患者18名、タミフルが効かなかった例が1名ありました(B型4歳男児)。
	3		
多摩小平	2		患者3名、うち1名は不明。
	14		
	2		
	6		
		1	
	7		
八王子市	3	1	B型1名は4歳女児。
	7	2	
	3		
	4		
	1		

## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
2/6	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス7型	遺伝子	
2/29	感染性胃腸炎	7	糞便	ロタウイルス	抗原	
2/29	急性胃腸炎	2	直腸拭い液	ロタウイルス		
2/29	インフルエンザ	14	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	遺伝子	
3/1	熱性けいれん	2	咽頭拭い液	アデノウイルス		
3/1	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型		
3/1	インフルエンザ	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
3/1	インフルエンザ	40	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型 ライノウイルス		
3/1	インフルエンザ	48	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型		
3/2	インフルエンザ	38	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
3/3	インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスB型		
3/3	急性胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス		抗原
3/3	急性胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス		
3/3	インフルエンザ	35	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	遺伝子	
3/4	発熱 下痢	13	直腸拭い液	ノロウイルス		
3/4	Stevens Johnson 症候群	2M	咽頭拭い液	ライノウイルス		
3/4	感染性胃腸炎	4	糞便	ロタウイルス	抗原	
3/4	インフルエンザ	25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	遺伝子	
3/4	インフルエンザ	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
3/4	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
3/4	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		



検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/5	感染性胃腸炎	5	糞便	ロタウイルス	抗原
3/6	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	遺伝子
3/6	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
3/6	じんましん	9	うがい液	ライノウイルス	
記載無し	肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	

## 病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		3	4	5	6	7	8	9	10
ウイルス	アデノウイルス	3	5	5	9	6	2	2	2
	ライノウイルス	2	2	2	2	7	2	1	4
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス			1	5	2	1	1	
	単純ヘルペスウイルス	1				2			
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	2		1	4	4	2	1	1
	EBウイルス	3	1	2	2	1	1		
	サイトメガロウイルス								
	ムンプスウイルス	2	1		1	2	1		
	麻疹ウイルス				1				
	風疹ウイルス					1			
	パルボウイルスB19				1	1		1	
	RSウイルス			3	1	1		1	
	ノロウイルス	3	3	2	4	2	2	2	1
	ロタウイルス	2	1	1	1	2	1	6	6
インフルエンザウイルスAH1	13	10	18	19	5	9	4	7	
インフルエンザウイルスAH3		1	3	2	1		1	2	
インフルエンザウイルスB					5		2	3	
デングウイルス									
その他のウイルス		1			1		4	2	
細菌	カンピロバクター				1				
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年3週～10週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	139	21	44	97	26	1		7		1	1	18	12		3		112	
ウイルス	アデノウイルス	4	6	4	6			2				4	1				7	
	ライノウイルス	2	3	2	1							2	2				10	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	1		5					1			1					1
	単純ヘルペスウイルス			1														2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7				1								5					9
	EBウイルス													7				3
	サイトメガロウイルス																	
	ムンプスウイルス													7				
	麻疹しんウイルス												1					
	風しんウイルス												1					
	パルボウイルスB19											1	2					
	RSウイルス	1		5														
	ノロウイルス				18													1
	ロタウイルス				20													
インフルエンザウイルスAH1	83		2															
インフルエンザウイルスAH3	9	1																
インフルエンザウイルスB	8		1														1	
デングウイルス																		
その他のウイルス			5	3														
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
その他の細菌																		
その他の病原体																		

## 月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年2月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	103	1.87	55	55
		女	105	1.91		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	48	0.87		
		女	34	0.62		
	尖圭コンジローマ	男	45	0.82		
		女	28	0.51		
	淋菌感染症	男	68	1.24		
		女	17	0.31		
	膣トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	13	0.24		
梅毒様疾患	男	4	0.07			
	女	4	0.07			
基 幹	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	27	1.13	24	23
		女	16	0.67		
	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	76	3.17		
		女	50	2.08		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	2	0.08		
		女	1	0.04		
2008/3/11集計						

\* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(*Trichomonas vaginalis*)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

### (定点医療機関からのコメント)

足立区保健所管内定点医療機関

- ・ 55歳の性器クラミジア感染症は急性精巣上体炎で受診。抗体価の検査で、感染源がクラミジアと判明した。
- ・ 35歳のヘルペス患者は激痛、熱発を伴う急性型だった。

## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年2月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	6			2		
20～24歳	11	3	4	7		
25～29歳	22	9	11	14		1
30～34歳	23	6	10	10		
35～39歳	14	12	6	15		1
40～44歳	5	7	5	9		1
45～49歳	11	2	5	3		
50～54歳	4	3	3	4		
55～59歳	5	2	1	2		
60～64歳	1	2		1		
65～69歳	1	2		1		1
70歳～						
合計	103	48	45	68	0	4
先月数	98	55	38	77	2	2
増減数	5	-7	7	-9	-2	2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	12	3	5	3	1	
20～24歳	33	7	8	7	4	
25～29歳	22	9	6	3	2	
30～34歳	22	6	2	3	2	2
35～39歳	11	2	3	1	3	1
40～44歳	2	2	1		1	1
45～49歳	1	2				
50～54歳	1		1			
55～59歳	1	2				
60～64歳						
65～69歳			2			
70歳～		1				
合計	105	34	28	17	13	4
先月数	115	37	33	21	14	0
増減数	-10	-3	-5	-4	-1	4

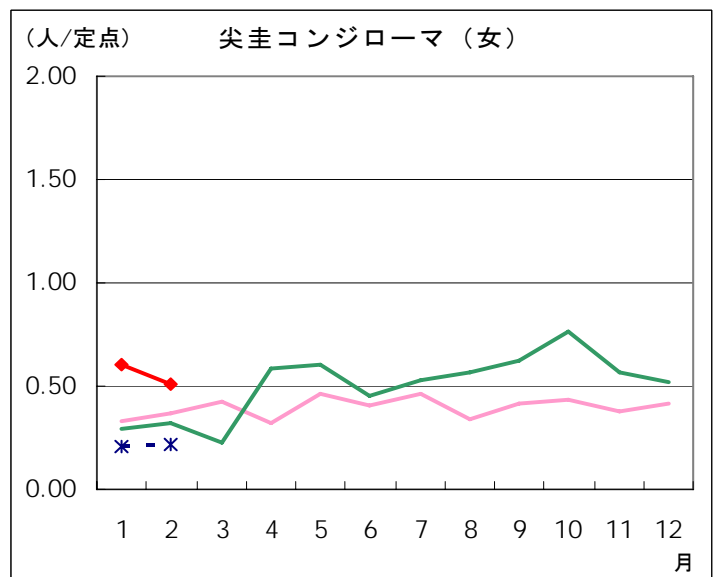
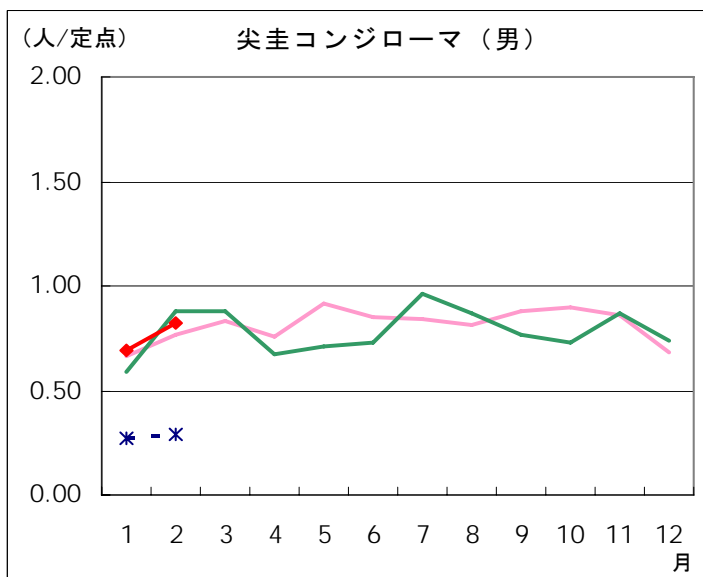
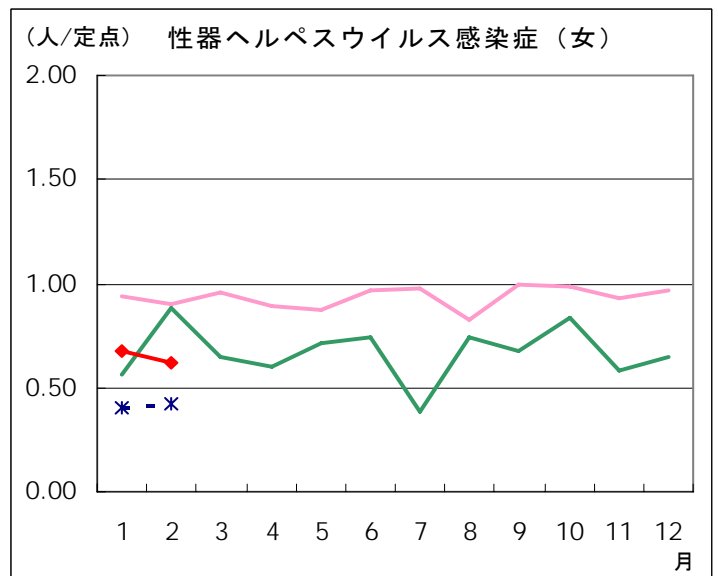
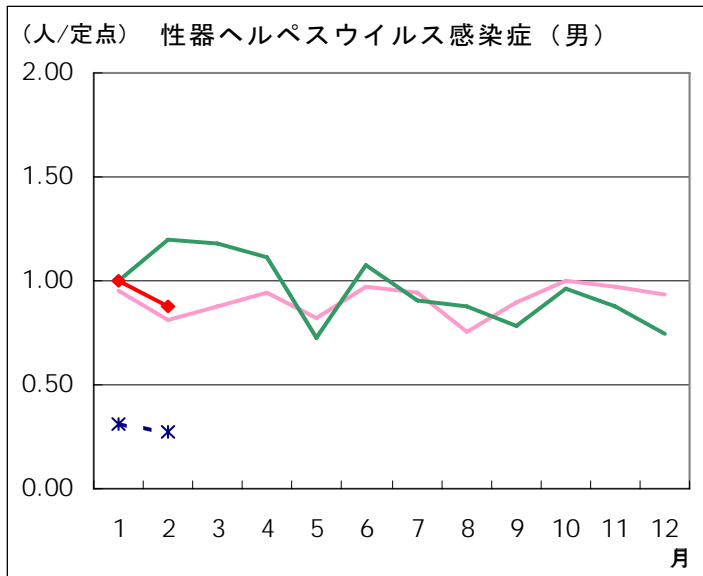
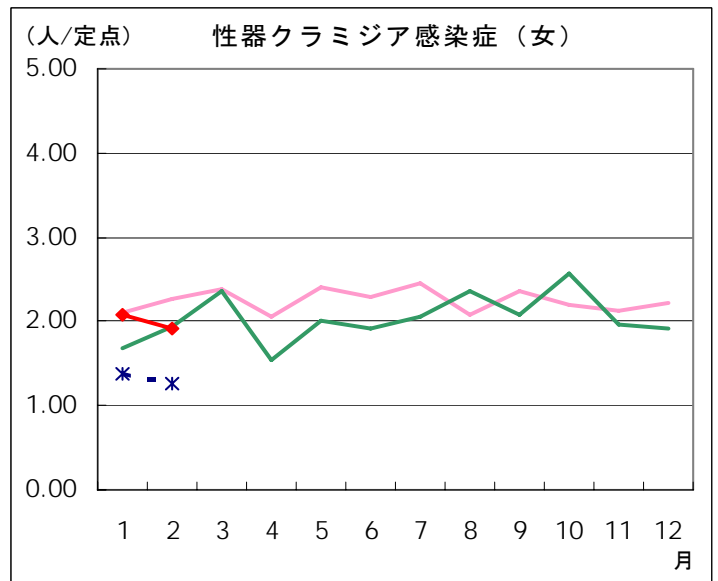
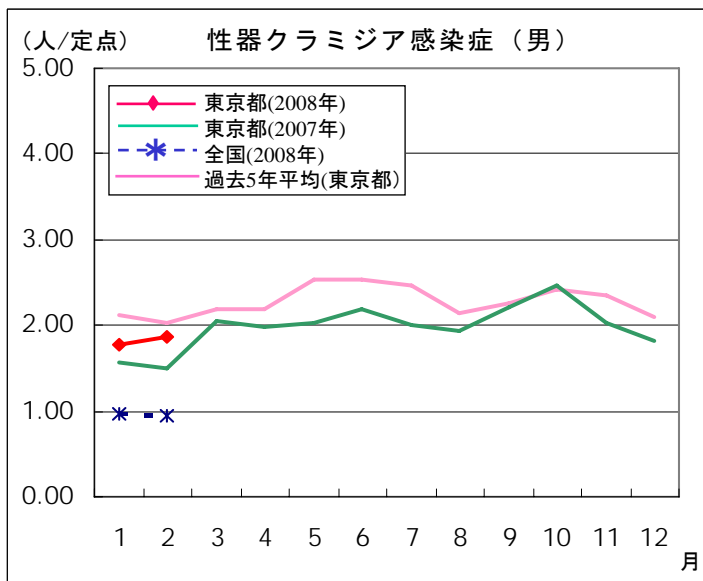
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2008年2月

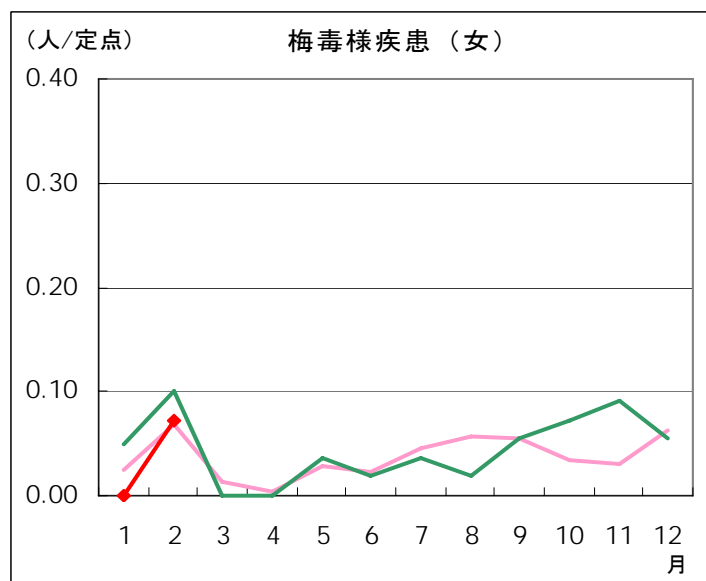
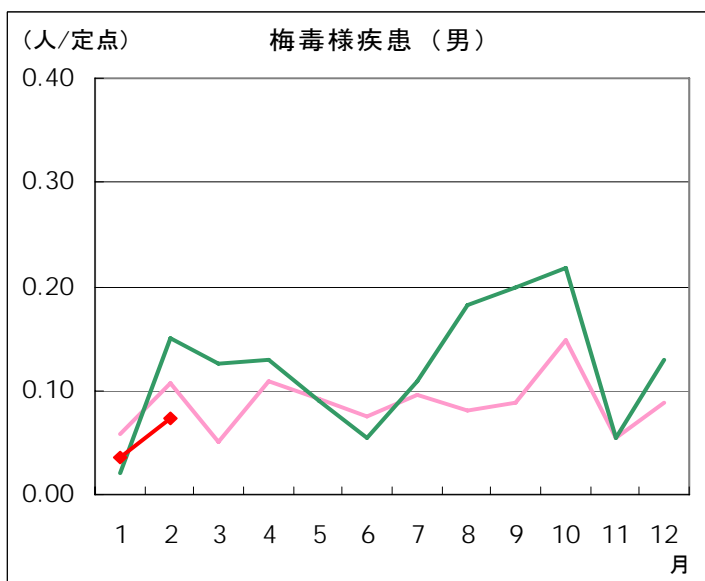
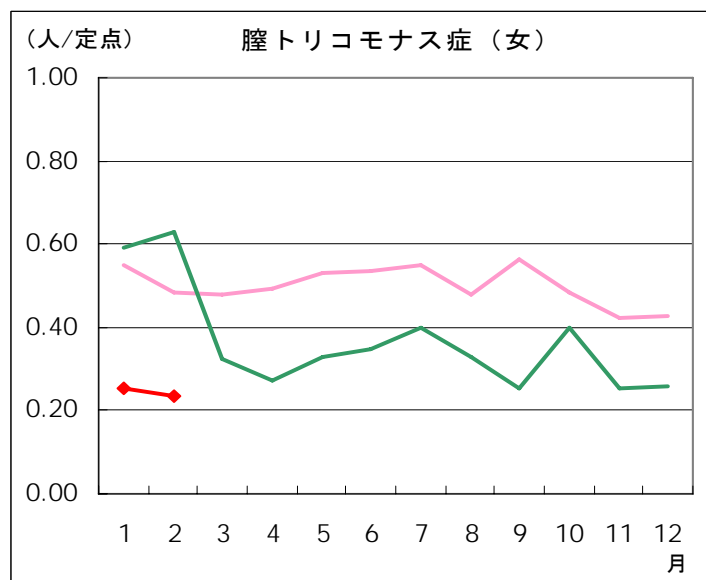
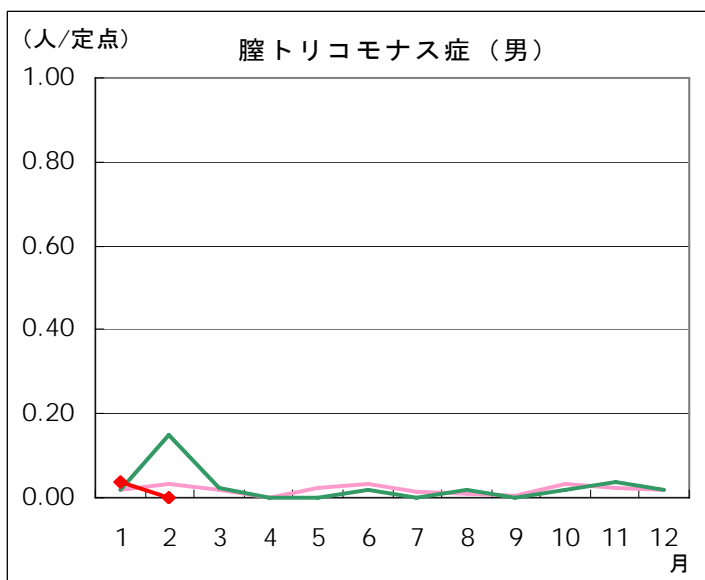
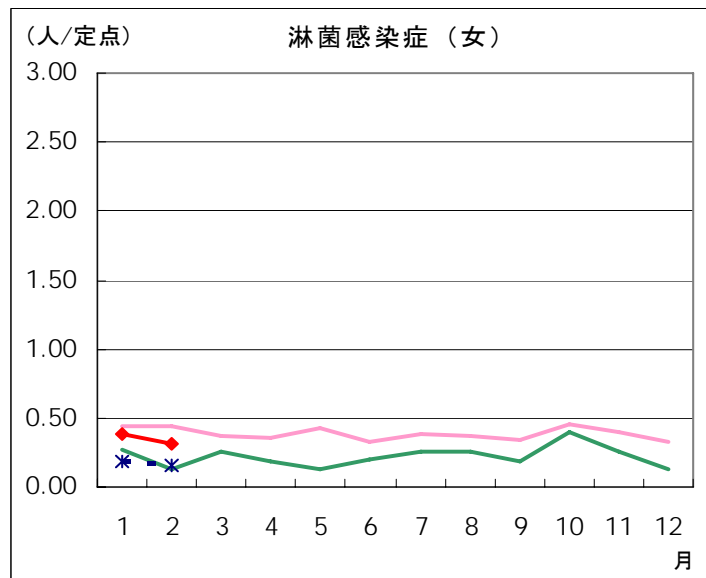
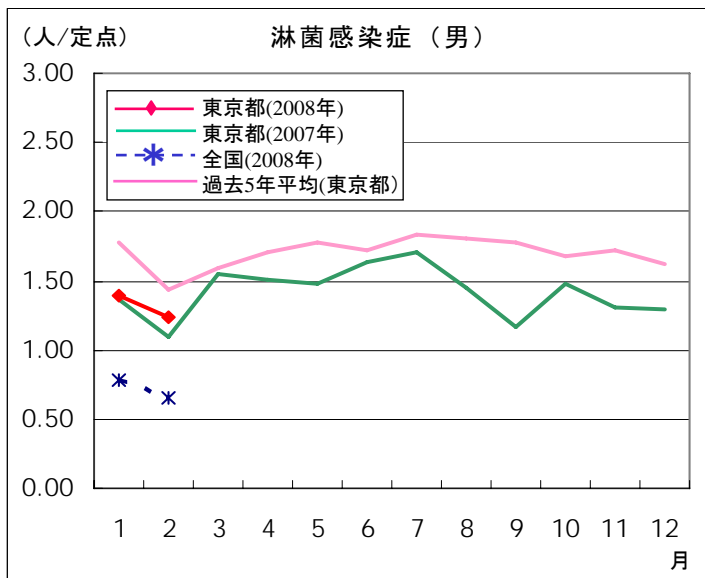
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	7	4	4	12		
中央区	3	6			2		
みなの	2	5	4		2		
新宿区	6	21	15	25	15		1
文京	1	3	1	1	2		
台東	3	1			2		
墨田区	2	4		3	4		1
江東区	2	11	3	3	4		2
品川区	1	1	2				
大田区	2	3			1		
渋谷区	5	11	5		3		
中野区	2	2	2		6		
杉並	2	4			2		
池袋	3	15	7	8	8		
北区	1				1		
荒川区	1						
板橋区	2	1			2		
足立	2	2	2	1	1		
江戸川	2	3	3				
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	3			1		
多摩小平	1						
合 計	55	103	48	45	68		4
定点当たり		1.87	0.87	0.82	1.24		0.07

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	3		1	2		
中央区	3	3	2			2	1
みなの	2	10	1	2	2	2	
新宿区	6	1	9	6	3		
文京	1						
台東	3	17	2	3	4	1	1
墨田区	2		1	2			
江東区	2	3	1	2		1	
品川区	1						
大田区	2	2					
渋谷区	5	7	4	6	1		1
中野区	2	3		1	1		
杉並	2	1	1		1		
池袋	3	7	4	1		1	
北区	1						
荒川区	1	1	1				
板橋区	2	7	1	1		2	1
足立	2	1					
江戸川	2	8	2		2	1	
八王子市	4	14	2	1		3	
町田	1	1					
多摩立川	2	15	3	2	1		
多摩府中	3	1					
多摩小平	1						
合 計	55	105	34	28	17	13	4
定点当たり		1.91	0.62	0.51	0.31	0.24	0.07

# 月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年2月現在

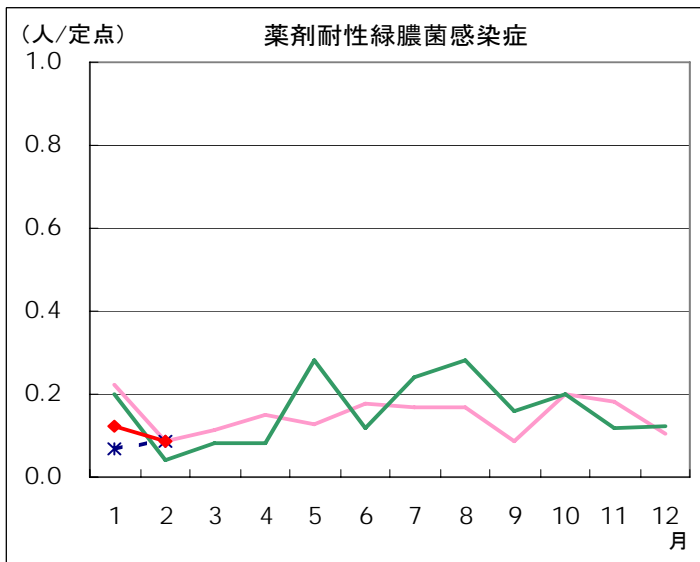
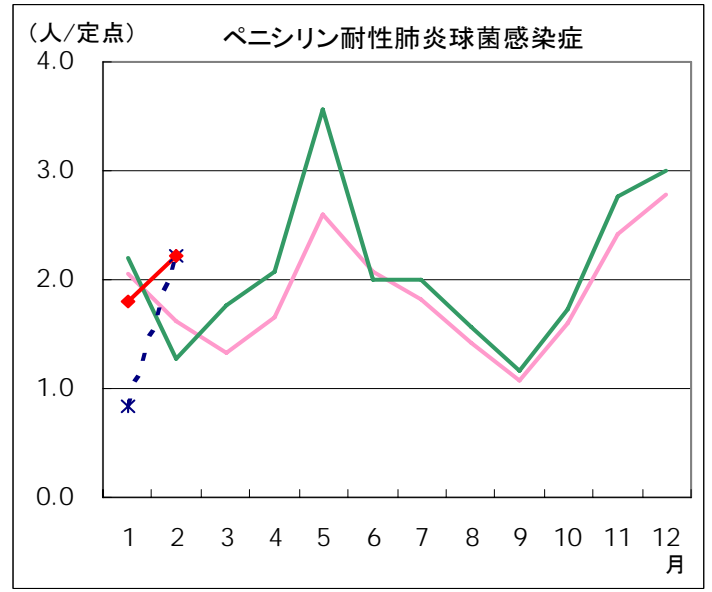
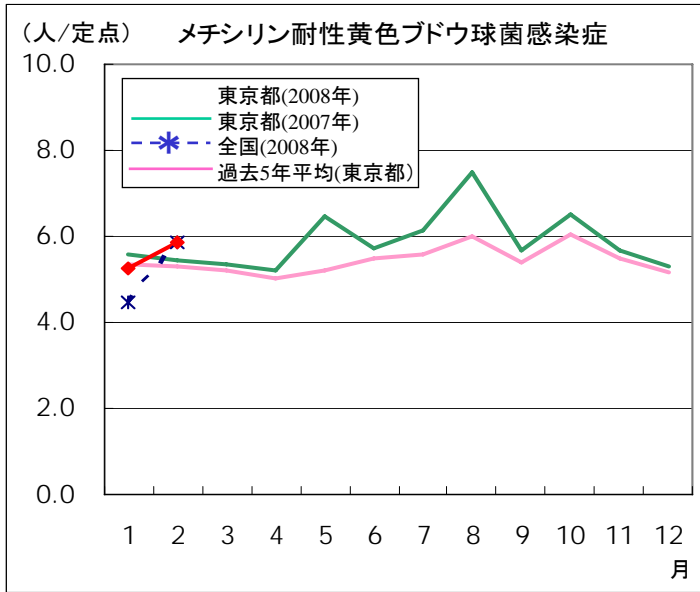
## ◆ 性感染症定点







◆ 基幹定点



## 月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
2/4	性器クラミジア	37	男	尿	淋菌	遺伝子
2/5	尿道炎	41	男	尿	クラミジア	遺伝子
2/8	クラミジア 膣炎	24	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア	遺伝子
2/12	膣炎	42	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物、血清	カンジダ	分離
2/13	性器クラミジア	66	男	尿	淋菌	遺伝子
2/13	性器ヘルペス	24	女	皮膚病巣	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
2/13	性器クラミジア	27	男	尿	クラミジア、淋菌	遺伝子 ・分離
2/13	尿道炎	27	男	尿	淋菌	遺伝子 ・分離
2/13	淋菌性尿道炎	32	男	尿	クラミジア淋菌	遺伝子
2/19	尖圭コンジローマ	53	男	コンジローマ	ヒトパピローマウイルス11型	遺伝子
2/19	性器クラミジア	25	男	尿	クラミジア、淋菌	遺伝子 ・分離
2/19	尖圭コンジローマ	30	男	コンジローマ拭い	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
2/19	膣炎、クラミジア頸管炎	24	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 ・分離
2/20	陰茎コンジローマ	46	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	ヒトパピローマウイルス56型	遺伝子
2/21	淋菌性尿道炎	50	男	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子
2/26	性器クラミジア	56	男	尿	淋菌	遺伝子 ・分離
2/26	クラミジア	32	女	陰部尿道頸管擦過物 /分泌物	クラミジア	遺伝子